

対ガボン共和国 国別開発協力方針

2019年4月

1. 当該国への開発協力のねらい

ガボンはサブサハラ・アフリカ有数の産油国であることに加え、鉱物や森林資源が豊富なことから一人当たり国民総所得（GNI）は6,610米ドル（世銀、2017年）と高水準である。同国は、1960年の独立後、内戦や紛争を一度も経験しておらず、その経済力と政治的安定により、中部アフリカ諸国経済共同体（ECCAS）、中部アフリカ国連地域事務所（UNOCA）が置かれ、アフリカ中部地域及びギニア湾の安定に積極的な役割を果たしており、同地域の重要国の一つである。

一方、産油国であることからGNIは高いものの、人間開発指数は110位（UNDP、2018年）と低く、経済指標と人間開発指数に乖離がみられる。また、石油収入が国家収入の6割近くを占め、工業化が進んでいない同国は、世界的な石油価格の変動の影響を受けやすいことから、財政収支の健全化に向けて、行政改革を実行している。さらに、2025年までの長期ビジョン「GABON VISION2025」とその実現に向けた「台頭するガボン戦略計画（PSGE）」を策定・発表している。

このような同国の自助努力を側面支援することは、同国のみならず地域の安定に貢献するものであり、また、国際場裡での我が国との良好な二国間関係の促進にも役立つことから、支援の意義は大きい。

2. 我が国のODAの基本方針（大目標）：経済開発と社会開発のバランスの取れた国造り支援

ガボンは、GNIが高い一方、経済指標と保健・教育・所得レベルを示す人間開発指数との乖離が大きいため、多くの開発ニーズを抱えている。我が国は、上記PSGEの下、経済指標と人間開発指数の乖離の是正を図るバランスの取れた国造りを支援する。

3. 重点分野（中目標）

（1）社会・生活面の向上と格差是正

同国の「人間開発戦略」を支援するため、教育、ICT、保健、コミュニティ開発分野への技術協力や草の根・人間の安全保障無償資金協力等を通じて、社会・生活面の向上と格差是正を支援する。

（2）環境保全

同国は、「緑のガボン」政策を通じ、生物多様性保全、地球温暖化・気候変動対策及びエコツーリズムの振興を重点課題としており、技術協力等を通じてこれらの取組を支援する。

（3）産業多角化の推進

農林水産業分野への技術協力等を通じて同国の重視する産業多角化を支援する。また、同国は経済パートナーの多様化に積極的に取り組んでおり、官民連携を通じた民間企業支援の可能性を追求し、産業多角化に貢献する。

4. 留意事項

ギニア湾岸地域漁業委員会（COREP, 事務局リーブルビル）、中部アフリカ森林協議会（COMIFAC, 事務局ヤウンデ）、アフリカ稲作振興のための共同体（CARD, 事務局ナイロビ）、アフリカのきれいな街プラットフォーム（ACCP, 事務局東京）等の地域機関・ネットワークの枠組みを活用し、地域レベルで各セクターの課題に取り組んでいく。

（了）

別紙： 事業展開計画